

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 巧文



### ■ 子どもたちの体験活動

出合小学校の5年生19人が、この7月、3泊4日の体験旅行に出かけてきました。まず、初日の長門市依山では、山登りと野菜の植え付け、そば打ちや竹細工を体験し、温泉に入って旅館に泊まりました。翌日と翌々日の2日間は、その昔くじら漁で栄えた仙崎の通<sup>かよい</sup>地区で分散して民泊しながら、波止場での釣り、魚のさばき方、海岸清掃、通の歴史探訪などを体験し、漁船にも乗せてもらったそうです。この体験後も、子どもたちと民泊先の家庭との交流が続き、通から出合小学校の運動会や学習発表会（いちようまつり）に見学に来てくれたり、子どもたちも家族と一緒に通に出かけたり、地区で歌い継がれている「くじら祝い歌」を覚えた児童もいるそうです。「人からの好意を当たり前と感じるのではなく、感謝の気持ちが持てるようになりました。」関係者は、子どもの成長ぶりを、そのように述べています。良い「感動体験」だったようですね。

### ■ フェスタが続きました

文化の秋も終わりました。各種の文化行事、文化祭、フェスタが続きましたが、11月30日の中央図書館フェスタは、これまでの図書館まつりのイメージを一新するすばらしい内容の行事だったとか。前夜祭は、朗読会、講演会、ピアノ演奏会のほか「まちのじまんフォトコンテスト」などで盛り上がり、当日は盛りだくさんの催し物が準備され、たくさんの方が

あったそうですが、「ビブリオバトル」（ご存じでしょうか？）では、60代の男性が優勝されたとか。来年は、ぜひのぞいてみてください。

12月7日の市民館でのヒューマンフェスタは、大学教授の布引敏雄（本山小学校卒）さんの講演「社会福祉・人権運動の先駆者 - 姫井伊介」がメインでした。小野田の生んだ社会事業家の姫井さんの手がけた保育事業、融和事業など各種事業の紹介のほか、「社会事業の実現には政治に進出するしかない」との信念のもと、政界でも活躍した姫井さんの生涯を、エピソードを交えながら講演していただき、いろいろなことを考えさせられる1時間半でした。姫井さんの姿勢は、当時の政治家（町議会議員、県議会議員、参議院議員、小野田市長などを歴任）には珍しく、「リベラル、言論重視、清廉潔白、利益誘導政治の否定」だったそうです。参考にしたいものです。労災病院の誘致も彼の功績だそうです。

### 「まちのじまんフォトコンテスト」大賞受賞作品



1



2



3

- ①小学生の部  
「びんがき(りゅうさんびん)」
- ②中学生の部  
「太陽がまぶしい赤崎神社」
- ③高校生の部「夏の終わり」